

Governor's Monthly Letter 2018-19

吊り橋の魅惑



- 2 ガバナー挨拶、2610地区R財団補助金事業報告
- 4 石川第2分区IM報告、石川第3分区IM報告
- 5 石川第4分区IM報告、富山第3分区IM報告
- 6 立山RC創立30周年記念例会、富山大手町RC10周年記念式典報告、
第3回地区国際青少年交換派遣学生オリエンテーション開催報告
- 7 地区インターアクト委員会及び台湾研修旅行第3回事前研修会開催報告、
例会出席報告(2月度)
- 8 地区米山記念奨学生終了者歓送会開催報告、4月行事予定、
ロータリー財団・米山記念奨学会寄付者、2月会員異動、
服喪記事(宇奈月RC長谷川様)、編集後記

母子の健康月間

国際ロータリー第2610地区
2018-19年度 ガバナー事務所

2018-19 Governor 若林 啓介

〒930-0048 富山県富山市白銀町2-5 株式会社若林商店内
TEL 076-482-5584 FAX 076-482-5595
E-mail wakabayashi2018-19@rotary2610.gr.jp



2018-19年度ガバナー

若林 啓介

4月：母子の健康月間に寄せて

4月は、ロータリーの6重点分野の一つ、母子の健康月間です。我々日本人にとっても、勿論、母子の健康は重要ですが、統計を見る限り、日本は、極めて恵まれた状況にあり、この問題の深刻さに気付かないで過ごしてしまっているかもしれません。

因みに、WHO（世界保健機関）が2018年に発表した統計によると、日本の新生児死亡率は1000人出産当たり0.9人（0.09%）で、サンマリノに次いで世界第2位の低さとなっています。最も新生児死亡率が高い国はパキスタンで、45.6人（4.56%、日本の約50倍）、世界の平均値は18.6人（1.86%、日本の約20倍）で、特にアフリカの国々は未だ新生児死亡率が高い傾向にあります。また、日本の妊産婦死亡率は10万人出産当たり5人（0.005%）で、ノルウェー、スペイン、スイスなどと並び最も低い国の一つです。統計のある国の中で最も死亡率が高いのシエラレオネで1,360人（1.36%、日本の約270倍）、世界平均値は216人（0.216%、日本の約43倍）となっており、上位には、やはり中央アフリカ、チャド、ナイジェリアなどのアフリカの国々が並びます。

新生児や妊産婦の死亡原因は、栄養失調、適切な医療や衛生設備の欠如など、どれも予防が可能なものばかりです。すべての母子が質の高い医療を受けられるよう、そして、出産で命を落とす母親がいなくなり、子どもがすくすくと成長できるように、私たちは支援活動を行っていく必要があります。実際、世界でロータリーは、教育、予防接種、出産キット、移動クリニックなど、様々な方法で母子の健康を推進しています。また、女

性を対象に、HIV母子感染の予防、母乳による授乳、病気の予防に関する教育も行っています。ロータリー財団創立100周年の際に表彰された、グローバル補助金プロジェクトの一部を紹介いたしますので、是非、参考にしていただければと思います。

◇ ブラジルのサンパウロにおける新生児ケア教育
Registro RC(D4610)と中津川RC(D2630)の協力によって、ブラジルの病院に新生児集中治療室の設備を寄贈し、貧困地域の妊娠中の若い女性を対象に出産前のケアに関するワークショップを実施。

◇ Kabarole（ウガンダ）における超音波検診研修の実施
Kiwatule RC(D9211)と第5500地区（アメリカ アリゾナ州）の協力により、ウガンダ農村部でのロータリーファミリー保健デーを支援し、妊娠期における健康異常を見つける超音波診断装置の使用法について助産師と保健従事者に研修を実施。

◇ フィリピンのマニラにおける母乳バンクの設立
Chinatown-Manila RC (D3810)と友部RC (D2820)の協力により、フィリピンのJustice Jose Abad Santos一般病院で母乳バンクを導入。

◇ Rajshahi（バングラデシュ）子宮頸がん検診への支援
Padma Rajshahi RC (D3281)とNorth Columbus RC (D6900)の協力によりバングラデシュでの子宮頸がん検診、女性への予防接種、村の保健従事者に対する研修を実施。

◇ Adana（トルコ）における乳がんの早期発見研修実施
Adana RC (D2430)とSan Antonio RC (D5840)との協力により、乳がんの認識向上と予防を目的とした15の研修モデルを提供

当地区のグローバル補助金は国際奉仕に十分には活用されていません。是非、母子の健康を推進するプロジェクトをご検討ください。

国際ロータリー第2610地区 2018-2019年度 R財団地区補助金 現況報告（石川県）

NO.	16-17 補助金 申請有無	17-18 補助金 申請有無	クラブ名	プロジェクト名 ★印は前年度継続事業	実施時期
7	★	★	金沢北	特定非営利活動法人シェきりり支援事業	2018.7.1～2019.6.30
8	○	○	金沢 みなと	スポーツ(バスケット)を通じた青少年奉仕IMGアカデミー U-15アカデミークリニック	2018.8
9	★	★	金沢西	「ろう学校」交流支援事業	2018.7.1～2019.6.30
15	★	★	小松東	第9回こまつかるた大会	2018.11.11～2018.11.11
18	×	○	能美	職業表彰事業「能美郡市永年勤続貢献者表彰と活動報告」	2019.1.11～2019.1.11

国際ロータリー第2610地区 2018-2019年度 R財団地区補助金 現況報告 (富山県)

NO.	16-17 補助金 申請有無	17-18 補助金 申請有無	クラブ名	プロジェクト名 ★印は前年度継続事業	実施時期
29	×	○	黒部中央	第23回黒部中央ロータリークラブ杯少年サッカー大会	2018.10.6 ~ 2018.10.7
33	○	○	富山 シティー	浄水器設置支援プロジェクト	2018.11.23 ~ 2018.11.27
35	★	★	富山 みらい	10年後の人材を育てよう	2018.7.28 ~ 2018.9.9
36	×	○	富山 みらい (10RC)	未来に繋ぐ小学生植樹体験事業 (越中八尾、上市、立山、富山、富山シティー、富山南、富山みらい、富山中、富山西、富山大手町合同事業)	2018.9.1 ~ 2018.9.30
41	×	○	新湊中央	いみず子ども食堂	2018.7.1 ~ 2019.6.30
51	★	★	高岡北	オタヤこども食堂への支援	2018.7.1 ~ 2019.6.30
52	★	★	高岡北	日本在住の外国人の子供への支援	2018.7.1 ~ 2019.6.30



金沢みなとRC・スポーツ(バスケット)を通じた青少年奉仕IMGアカデミー



金沢西RC・「ろう学校」交流支援事業



小松東RC・第9回こまつかるた大会



能美RC・
職業表彰事業「能美郡市永続勤続貢献者表彰と活動報告」



黒部中央RC・第23回黒部中央RC杯少年サッカー大会

富山シティーRC・浄水器設置支援プロジェクト



富山みらいRC・10年後の人材を育てよう

富山みらいRC(10RC合同事業)・未来に繋ぐ小学生植樹体験授業



新湊中央RC・いみず子供食堂

高岡北RC・オタヤこども食堂への支援

高岡北RC・日本在住外国人の子供への支援

石川第2分区IM開催報告

3月3日開催

3月3日(日)、吉田義明ガバナー補佐の下、特別出席者として若林啓介ガバナー、下口幸雄パストガバナー、そして毛利一朗地区幹事をお迎えし、石川第2分区都市連合会が開催されました。

テーマとして「北前船日本遺産を活かした観光まちづくり」を掲げ、まさにそのテーマ通りのまちづくりで大成功を取めている小樽市から、北前船調査会主宰の土屋周三氏、小樽商科大の高野宏康氏と学生4人をお迎えしての基調講演と、地元加賀市職員の師岡正樹氏、小松市職員の川畑謙二氏も交えたパネルディスカッションの2部構成で執り行われました。

第1部では加賀市と小松市の北前船遺産の価値の高さをあらためて認識し、第2部ではそれら遺産を単に文化的遺産として保存に努めるだけでなく、地元の我々が事業に取り入れ活用

することが重要であり、それがまちづくりにつながるという興味深い内容でした。

引き続き行われた懇親会では200人余りの参加者が互いに親交を深める大いに盛り上がった場となりました。



IM実行委員長 久保田 清忠(加賀白山RC)

石川第3分区IM開催報告

2月17日開催

2月17日(日) 和倉温泉「ゆけむりの宿美湾荘」にて、七尾みなとRCがホストを務めIMを開催いたしました。当日は、若林ガバナー、毛利地区幹事、分区内会員の約65%に当たる120名の登録並びに参加を頂き、式典並びに懇親会を盛会のうちに終えることができましたことを心より感謝申し上げます。講演会では「伝統芸能と継承」との演題にて、金沢にし茶屋街「明月」所属の芸妓 結 氏よりご講演いただき、伝統や文化を



未来へ受け継いでいく大変さや、変わりゆく時代への対応が重要なことを学ばせて頂きました。また、「一見さんお断り」の趣旨についての質疑に対して「もう、ここの皆様は一見さんではありませんから、どうぞ遊びに来てください」などとユーモアと笑いのある講演会でした。また、懇親会では講師の結さんのおどりと萌美路さんの三味線でオープニングを飾り、能登の恵まれた「海の幸」に舌鼓をはずませ、酒を酌み交わしながらロータリアンとして一層の友情を深められましたこと、楽しい一時を過ごせましたこともホストとして感謝申し上げます。

このIMを通して、この地区の更なる連携と発展に繋がることを心より信じ、またご参加の皆様方の益々のご健勝を祈念申し上げます報告とさせていただきます。

ガバナー補佐 山田 外志勝(七尾みなとRC)

石川第4分区IM開催報告

3月10日開催

3月10日(日) 穴水町「キャッスル真名井」会場で、若林啓介ガバナーの地区活動方針「ロータリーを知ろう、知ってもらおう」のメッセージに竹中ガバナー補佐の発案で、元米山留学生(ローテックス) 竹松祐貴さん・小鍛冶理沙さんに『グローバル社会に活かされる交換留学』と題して、記念講演をお願いし

ました。“人生の大きな転機・親善大使としての自覚”交換留学の意義を体現した瑞々しい二人の若者のチャレンジに拍手喝采でした。これからの充実した国際奉仕に繋がり、奥能登地区5つのクラブ(珠洲・能登・輪島・内浦・穴水)、会場にいた70名に「インスピレーション」として響いたことでしょう。集い・



情報・意見交換・親睦・研鑽に勉め、向上を確認し得た有意義な時間となりました。若林啓介ガバナー様・毛利一朗地区幹事様・地区国際青少年交換委員竹松俊一様をはじめ、講演者の方々、来場の皆様の多大なご理解とご協力・ご登録により、『都市連合会IM』を成功裏に閉会できました事に心より感謝申し上げます。有難うございました。尚、『懇親会』では、田辺明

美先生ご指導による小学生「Aキッズ」のはち切れんばかりの創作ダンス。その後、懇親会では、しっとりとする「二胡演奏」、地元中居民謡保存会の皆さんにより「中居まだら」「中居囃子」の連綿と続く伝統の祝い歌を披露させて頂きました。

IM実行委員長 諸橋志津子 (穴水RC)



富山第3分区IM開催報告

3月2日開催

3月2日(土)、高周波文化ホールにおいて県西部7RCより220名の登録をいただき富山第三分区のIMを開催しました。

今回のテーマを『ふるさと創生～ロータリーに何ができるのか』とし、元内閣府特命担当大臣の石破 茂氏をお招きして地方の過疎化や人口減少、まちの活性化について講演をいただきました。その後「わがクラブの地方創生の取り組み」と題し、7クラブ代表者による熱のこもったクラブ発表がありました。

懇親会は射水商工会議所がまちおこし事業の一環として取り組んでいる「食彩しんみなと」とコラボし、地元の料理店・鮨店に移動してクラブ単位で新湊の味覚を楽しんでいただきました。IMの目的の一つでもある会員相互の親睦を深めるという訳にはいきませんでした。衰退を続ける地域の活性化に少しでも繋がりたいという思いで企画させていただきました。ご協力いただいた第三分区の会員の皆様に深く感謝いたします。 実行委員長 米田 秀樹 (新湊RC)



立山ロータリークラブ 創立30周年記念例会

2月14日開催



立山ロータリークラブ創立30周年特別例会を開催するにあたり、第2610地区ガバナー若林啓介様、スポンサークラブ上市ロータリークラブ会長、幹事様、友好クラブ越中八尾ロータリークラブ会長、幹事様、友好クラブ湯河原ロータリークラブ様にも遠路お越し頂き、誠にありがとうございました。お陰様で無事に特別例会を終える事が出来ました。昭和63年9月23日、立山町民会館に於いて、当クラブ創立総会を挙行し若林啓之助パストガバナー、米井定義特別代表を始め、上市ロータリークラブ様のご指導の元、設立いたしましたから、今日創立30周年を迎える事が出来ました。30年の歩みの中でも、第10回ライラセミナー、立山ロータアクト設立、湯河原ロータリークラブ様との友好クラブ締結、IMの開催、上市・八尾・立山3クラブ合同例会、及び親睦大会など、忘れる事の出来

ない事業であります。7年前より、毎年夏、中学生と共に立山室堂外来植物除去活動を行い、地域社会貢献を図るとともに、創立当初から続けてまいりました青少年育成教育プログラムを当クラブの柱として事業を進め、今後とも頑張って行きたいと思っております。今日の30周年を契機に会員の親睦を深めることにより、強い絆を結び更に職業奉仕を通じて社会奉仕活動を実践し、地域社会に貢献して行きたいと思っております。今後とも変わらぬ温かいご指導とご鞭撻を賜りますことをお願い申し上げます。



立山RC会長 押田 健

富山大手町ロータリークラブ創立10周年記念式典

2月25日開催

2009年2月13日に国際ロータリーから認証状を受け取り正式にスタートした当クラブは2月25日ANAクラウンプラザホテル富山において創立10周年記念式典を開催しました。

富山市長代理中田信夫建設部長、若林ガバナー、高柳パストガバナー、分区内の会長幹事をはじめスポンサークラブの富山中RCからも40名もの会員に駆けつけていただき式典を祝福していただきました。



式典では10周年を記念してロータリー財団と米山記念奨学会への寄付を若林ガバナーお渡しし、富山市城址公園へ「越冬桜」など10本を10周年の記念植樹として贈呈しました。また、第六代から十代の会長へ感謝状と記念品の贈呈。創立時からの100%例会出席者や長期100%例会出席者を表彰しました。

引き続き同会場にて、横浜DeNAランニングクラブ総監督瀬古利彦氏に「心で走る」と題して記念講演をしていただき、祝賀会では120名以上のロータリアンが親睦の輪を広げ、大きな盛り上がりを見せました。

会員がロータリー活動を心から楽しみ、我クラブに所属することを誇りに思えるよう、活発な活動に取り組んでいくことを誓う創立10周年記念式典祝賀会となりました。

富山大手町RC会長 石坂 兼人

第3回地区国際青少年交換派遣学生 オリエンテーション開催報告

2月23日開催

去る平成31年2月23日に当地区から海外へ派遣予定の学生及び保護者に集まっていただき、第3回オリエンテーションを石川県国際交流協会で開催しました。参加者は石川県の学生8名と富山県の学生3名、およびその保護者の合計22名です。今回は旅行会社の担当者から具体的な渡航手続きの説明があり、学生も保護者もいよいよ近づいて来る旅立ちの瞬間を頭に思い描きながら真剣に聞いているのが伝わって来ました。

現地でのホームステイ中の注意事項についても説明が行われましたが、当プログラムを経験している家庭と、初めての家庭とでは心の持ち方に若干の違いがあるとは言え、実際に夏から留学するのは今回参加した学生たちです。留学に対する覚悟と自覚が徐々に醸成されて来ている印象を受けました。

今回の派遣予定学生には5月に開催される日本青少年交換研究会 金沢会議にも参加していただきます。当日は受入学生との交流機会も多いので留学に向けての準備をさらに進めて欲しいと思います。



国際青少年交換委員会 河内 肇(富山みらいRC)

地区インターアクト委員会及び インターアクト台湾研修旅行第3回事前研修会開催報告

2月10日開催

2月10日(日)に石川県国際交流センター(リファール)にて、第2回委員会及び第3回事前研修会を開催しました。

まず、委員会においては、6名の委員に加え黒川地区副幹事にご出席いただき、今年度の台湾研修旅行の日程や活動内容、次年度予算と新規事業等について議論しました。

委員会に引き続き、事前研修会においては、参加予定のインターアクター15人全員が集まり、委員長の開会挨拶の後、第一部では株式会社ヴァケーションの寺島氏から、旅程や旅行中の注意等について説明があり、第二部では、引率していただく遊学館高等学校 小坂教諭の司会・進行により、現地での班別行動や高校生との交流会に関するグループ別の打合せが行われました。

約2時間半の今回の事前研修会は、次回の日時と場所を確認の後、副委員長の閉会挨拶で終了しました。

参加予定のインターアクターはすでに顔なじみになっており、また、インターアクト海外研修の意義を十分に理解しているようで、充実した台湾研修になることを予感させるものでした。



地区インターアクト委員長 加藤 真一(金沢RC)

地区米山記念奨学生終了者歓送会開催報告

2月16日開催

一年というのはホントに早いものです。米山の楽しみの一つに、面接からオリエンテーション・研修会・懇親会と色々な行事がある中で、彼等の変化を感じられることにあります。それは顔の表情であり、あるいは話し方でわかります。戦国時代の武者たちが、戦に行く前の表情と、終わって無事引き揚げてきたときの表情が天と地ほどの差があり、同じ人とは思えなかったそうです。米山奨学生の一年はその武者たちと同じかもしれません、お世話クラブとその会員様、カウンセラー様、奨学生同士はじめ米山事業に期待を寄せる人達と知り合い、自分が進むべき道が見えてきたのかもしれない。奉仕の大事さ、社会のルール、何よりも将来の自分の姿がロータリーに居たのでしょうか。

残念ながら一人の欠席者が出たのは私の責任です、反省ばかりです。次期に繋がります。

若林ガバナー・高柳評議員様の祝辞で始まり、奨学生たちの母国の国旗を収めるまでの修了式と歓送会、温かい時間を過ごせました。心よりお礼申し上げます。カウンセラー様ありがとうございました、大学の皆様に感謝です。

修了生の笑顔がとても頼もしく、同時にもっと何かをしてあげられたのではと落ち込む私がありました。



地区米山記念奨学会委員長 村中 高次郎 (河北南RC)

例会出席報告 (2月度)

2019年2月末日現在

分 区	ク ラ ブ 名	出席率 (%)	当月 順位	通算 出席率 (%)	通算 順位	会 員 数 (人)			
						期 初	月 末	増 減	
石川第1分区分A	河 北	73.63	47	78.28	36	26	25	-1	
	河 北 南	63.04	62	70.34	55	25	24	-1	
	金 沢	90.42	10	90.41	9	118	136	18	
	金 沢 東	81.87	28	82.40	27	103	109	6	
	金沢香林坊	84.58	21	81.55	30	114	117	3	
	金 沢 南	82.59	27	88.00	15	55	58	3	
	6 R C	79.36	5	81.83	4	441	469	28	
	石川第1分区分B	白 山	76.44	42	74.84	44	38	38	0
白山石川		77.61	36	78.31	35	34	36	2	
金沢百万石		67.15	57	60.72	63	46	39	-7	
金 沢 北		71.59	52	73.00	52	45	46	1	
金沢みなと		87.32	12	80.59	32	45	48	3	
金 沢 西		85.52	19	86.24	18	46	51	5	
野々市		83.81	24	81.86	29	41	42	1	
7 R C		78.49	6	76.51	7	295	300	5	
石川第2分区分	加 賀	92.68	7	91.51	8	60	60	0	
	加賀中央	90.83	9	88.97	11	33	31	-2	
	加賀白山	94.44	5	91.93	7	26	27	1	
	小 松	78.57	34	77.66	39	54	54	0	
	小 松 東	77.34	37	73.70	50	35	36	1	
	小松シティ	70.48	54	78.11	37	35	35	0	
	能 美	86.58	17	88.81	12	56	55	-1	
	山 中	70.00	55	67.15	61	21	20	-1	
8 R C	82.62	3	82.23	3	320	318	-2		
石川第3分区分	羽 咋	87.18	13	84.98	20	26	26	0	
	中能登まほろば	83.82	23	83.40	22	16	17	1	
	中 島	80.00	32	82.92	23	10	10	0	
	七 尾	73.32	48	76.96	40	47	50	3	
	七尾みなと	86.73	16	83.82	21	49	51	2	
	志 賀	75.00	45	67.97	57	17	18	1	
	富 来	76.62	41	68.38	56	14	15	1	
	7 R C	80.38	4	78.35	6	179	187	8	
石川第4分区分	穴 水	76.92	39	79.64	34	14	15	1	
	能 都	67.11	58	86.20	19	38	40	2	
	珠 洲	75.73	44	81.09	31	22	21	-1	
	内 浦	63.82	61	67.37	59	16	18	2	
	輪 島	96.67	4	94.58	4	29	30	1	
	5 R C	76.05	7	81.78	5	119	124	5	
	富山第1分区分	朝 日	77.00	38	74.12	49	23	25	2
		黒 部	75.75	43	74.41	48	11	11	0
黒部中央		72.00	51	76.32	41	23	25	2	
入 善		79.16	33	74.48	47	7	6	-1	
宇 奈 月		64.45	60	70.92	54	21	19	-2	
魚 津		69.62	56	74.93	43	29	31	2	
魚 津 西		76.87	40	79.98	33	28	29	1	
7 R C		73.55	9	75.02	9	142	146	4	
富山第2分区分		越 中 八 尾	84.09	22	87.84	16	23	23	0
		上 市	72.25	50	73.25	51	18	18	0
		立 山	72.36	49	67.66	58	18	19	1
		富 山	64.77	59	74.65	46	101	105	4
		富山シティ	53.91	64	59.17	64	81	81	0
		富 山 南	73.91	46	67.26	60	58	60	2
		富山みらい	71.38	53	72.93	53	77	76	-1
		富 山 中	80.72	29	82.86	24	60	59	-1
	富 山 西	92.80	6	93.86	5	63	63	0	
	富山大手町	82.87	25	78.09	38	52	53	1	
10 R C	74.91	8	75.76	8	551	557	6		
富山第3分区分	射 水	87.08	15	88.73	14	32	30	-2	
	東となみ	80.47	30	74.68	45	20	18	-2	
	新 湊	80.03	31	81.90	28	43	45	2	
	新湊中央	85.42	20	75.44	42	13	14	1	
	高 岡	100.00	1	100.00	1	73	76	3	
	高岡万葉	98.38	3	97.93	3	72	69	-3	
	砺 波	82.84	26	89.97	10	51	53	2	
	7 R C	87.75	1	86.95	1	304	305	1	
富山第4分区分	氷 見	85.71	18	82.76	25	43	43	0	
	氷見中央	58.93	63	66.62	62	14	16	2	
	南 砺	89.20	11	88.77	13	47	47	0	
	小 矢 部	87.16	14	86.72	17	38	37	-1	
	小 矢 部 中	91.37	8	92.01	6	45	45	0	
	高 岡 北	78.42	35	82.65	26	40	39	-1	
	高 岡 西	100.00	1	100.00	1	52	53	1	
	7 R C	84.40	2	85.65	2	279	280	1	
64 R C 合計	79.72		80.45		2,630	2,686	56		

4月行事予定

2019年3月11日現在

日 時	行事予定	場 所	備 考
4月〈母子の健康月間〉			
6日 (土)	小矢部中RC創立35周年記念例会	宮島温泉 滝乃荘	15:00～19:30
7日 (日)	高岡万葉RC創立30周年記念式典	ホテルニューオータニ高岡	13:30～19:00
10日 (水)	東となみRC創立40周年記念式典・記念行事	鳥越の宿 三楽園	18:00～20:00
13日 (土)	第4回ロータリー財団委員会 補助金審査委員会	石川県地場産業振興センター	9:30～15:30
13日 (土)	加賀RC創立45周年講演会	長生殿	15:00～17:00
14日 (日)	地区インターアクト委員会及びインターアクト台湾研修旅行事後報告	石川県国際交流会館	12:00～16:00
14日 (日)	第3回ロータリーアクト会長幹事会議	小松	
20日 (土)	新規ロータリー米山記念奨学生合格者オリエンテーション	富山電気ビル	15:00～19:00
21日 (日)	地区研修・協議会	石川県地場産業振興センター	ホスト:金沢RC
27日 (土)	輪島RC創立55周年記念式典	ホテルこうしゅうえん	15:00～18:15

R財団寄付者

—— マルチプル・ポール・ハリス・フェロー ——

金沢 八木圭一朗 2月1日 2回
富山 酒井 正人 2月19日 6回

—— ポール・ハリス・フェロー ——

金沢百万石 武藤 清秀 2月15日
中能登まほろば 藤本 勲 2月28日
中能登まほろば 上見 健一 2月28日
中能登まほろば クラブ寄付 2月28日
富山 岩崎 孝 2月7日
富山西 山口 剛 2月7日

米山記念奨学会寄付者

—— クラブ扱い特別寄付 ——

中能登まほろば ¥160,000 2月1日

—— 米山功労者 マルチプル ——

白山 林 康友 2月21日 3回
金沢北 内堀 茂 2月22日 2回

—— 米山功労者 ——

射水 夏野 公秀 2月12日 1回

会員異動

《 入 会 》

金沢 北川 文洋 2月20日
金沢香林坊 石川 統一 2月18日
小松 清水 良衛 2月7日
内浦 蟹 豊文 1月10日
新湊 越後 雅俊 2月15日
砺波 河島 亜紀 2月4日

《 退 会 》

河北 塩本 亘 2月20日
河北 安達 哲郎 2月20日
小松 丸山 守 2月6日
魚津 大割 範孝 2月22日
富山 太田 尚典 2月28日
富山大手町 野入美津恵 1月31日
射水 瀧田 博史 2月28日
高岡 大島 悦男 2月7日

ご冥福をお祈りいたします



長谷川 昭
(宇奈月RC)
2月14日(享年64歳)
ハセガワデンキ代表
在籍22年
2009-10クラブ会長

編 集 後 記

この稿を書くにあたり、新湊大橋のことを少し調べてみた。すると、「斜長橋」という記述が目にとまった。今まで新湊大橋は「吊り橋」と思い込んでいたために、違和感を覚えたのだ。

文献には「新湊大橋は日本海側最大の斜長橋で全長3.6km、主橋梁部の長さは600m、主塔の高さは127m。2本の主塔から72本のケーブルで橋げたを支えている」とある。では、「吊り橋」と「斜長橋」はどう違うのか？

どうやらこういうことらしい。
「吊り橋とは現代の土木工学分野における分類においては、2本の主塔とそれに渡される2組のメインケーブルを持ち、そのケーブルから鉛直に垂らされたハンガーロープで桁を支持する橋を指す」 それに対して「ハンガーロープがなく、複数

のケーブルを斜めに張って直接桁を支えるものは斜張橋と呼ばれ区別される」したがって、メインケーブルを持たない新湊大橋は「斜長橋」ということだ。では表紙写真のキャプションは間違いなのか？文献によると「広義では斜長橋も吊り橋の一種といえる」とあるので、まあ許される範囲なのではないだろうか。

ところで、新湊大橋はそのスケールもさることながら、「歩いて渡れる」という魅力も大きい。橋げたの下に歩行者用通路として「あい風プロムナード」が設置されていて、徒歩あるいは自転車を押しての通行が可能なのである。主塔内にあるエレベーターで上り下りできるのでお年寄りや小さい子供にも優しい設計となっている。私も一度通ってみたが、アクリルガラスに覆われた通



主塔とケーブル。下部に歩道が見える

路からの眺めには格別なものがあった。海面上から40m以上の高さを歩くため、ちょっとしたスリルも味わえ、一見の価値、いやひと歩きの価値ありのプロムナードである。

ガバナー月信担当 地区副幹事
江川 正光(富山RC)